

地域おこし協力隊が行く

Vol.7

December 2017

天空の芸術祭2017へのご協力ありがとうございました

天空の芸術祭2017は、全国各地から多くの方にご来場いただきました。台風で作品が破損してしまったり、会期の半分以上が悪天候という中で、大きな事故も無く終えることができました。テーマである「生活は芸術だ!」に則して、地域の文化や生活様式をモチーフに作品を作る作家が多く、地域に長期滞在して制作する作家もいました。まさに「生活は芸術」な芸術祭だったと思います。作家の越後正志さんは、地域のおもてなし文化である「おとりもち」をテーマに制作。地域に住み込み、住民の協力のもと、たくさんのお椀を集めて作品にしていました。最終日には住民の方が「今日で最後か、さみしくなるね」と声をかけていたのが印象的でした。作家と地域の人との繋がりはもちろん、全国各地の芸術祭関係者が視察に来たり、海外向けの雑誌から取材があるなど、新たなネットワークができ始めているのを感じました。活動を通じて新たな人の縁が出来上がっていくことを、嬉しく感じています。これからも地域に「生活」が絶えぬことを願います。「アート」がその一助になり、「これから」を考えるきっかけになれば、これ以上の喜びはありません。(森 健太郎隊員)

今月の
クローゼット

abn・八十二「第17回ふるさとCM大賞 NAGANO」最終審査に!

とうみケーブルテレビと一緒に制作した東御市の「ふるさとCM」。今年も最終審査に選ばれました。テーマはくるみ。12月初旬に長野市で最終審査会が行われ、年始特別番組としてテレビ放送される予定です。入賞するかなあ、ドキドキ。お楽しみに!(山本 佳子隊員)



わずか30秒の「くるお」くんの初恋物語。想いは届くのか??

観光情報ステーションで 会いましょう!

東御市観光情報ステーションでスタンバイしている大塚達朗隊員と大久保真平隊員。高校生が同所で電車を待つようになって賑やかになったと嬉しそう。電話を借りにくる子どもも増えています。「観光案内所としてだけでなく、市民みんなの憩いの場になってほしい」。

東御市の総合パンフレットも年内発行の目処が立ちました。これまで4冊に分かれていた観光パンフレットを統合し、移住情報もプラス。観光客はもちろん、市民の方にも役立つ一冊。発行が決まりましたら、観光協会のフェイスブックなどでお知らせします。



日本体育大学を^{しょうへい}招聘して 教育委員会研修会を開催

長野県市町村教育委員会研修総会が19年ぶりに東御市で開かれました。日本体育大学の教授による講演のあと、学生による実演。「体育」をテーマにした研修総会は初めてのこと。体育教育の本丸とも言える同大学を東御市に招聘し、総会全体をコーディネートしたのが、佐藤照友旭隊員、「良い情報発信ができた」とほっと一息。



真冬も「里山探検」へ

大自然の中で、のびのび遊ぶことで健やかな成長を目指す「里山探検事業」。谷貴人隊員の活動のひとつです。企画、運営だけでなく、活動場所の四季の森(新張)の整備も行います。11月は、台風で荒れた森を安全に遊べるように倒木をチェーンソーで伐採することから始まりました。「子どもっておもしろいし、すごいなと、毎回感動する」と同隊員。東御に来るまで、子どもとの接点はなかったとのことですが、今では楽しくてやさしいお兄さんとして慕われています。里山探検は、真冬も実施。参加希望の方は事務局(☎61-6148)へ。

